へ13
3730
29

へ13
3730
30

へ13
3730
29

113
3730
29

水木辰之助が鎗踊貓の所作ハ醒齋翁の奇跡考ふ粗所見師の戯作扇貓骨ふ御所櫻のさた雖有女三宮の貓ふ因こたる今源氏六十帖と号傳奇ふ姫松嬢よ扨ーて貓乃所作有ー吏て記さまどれば幸に本編ふ拾て些趣向の助と

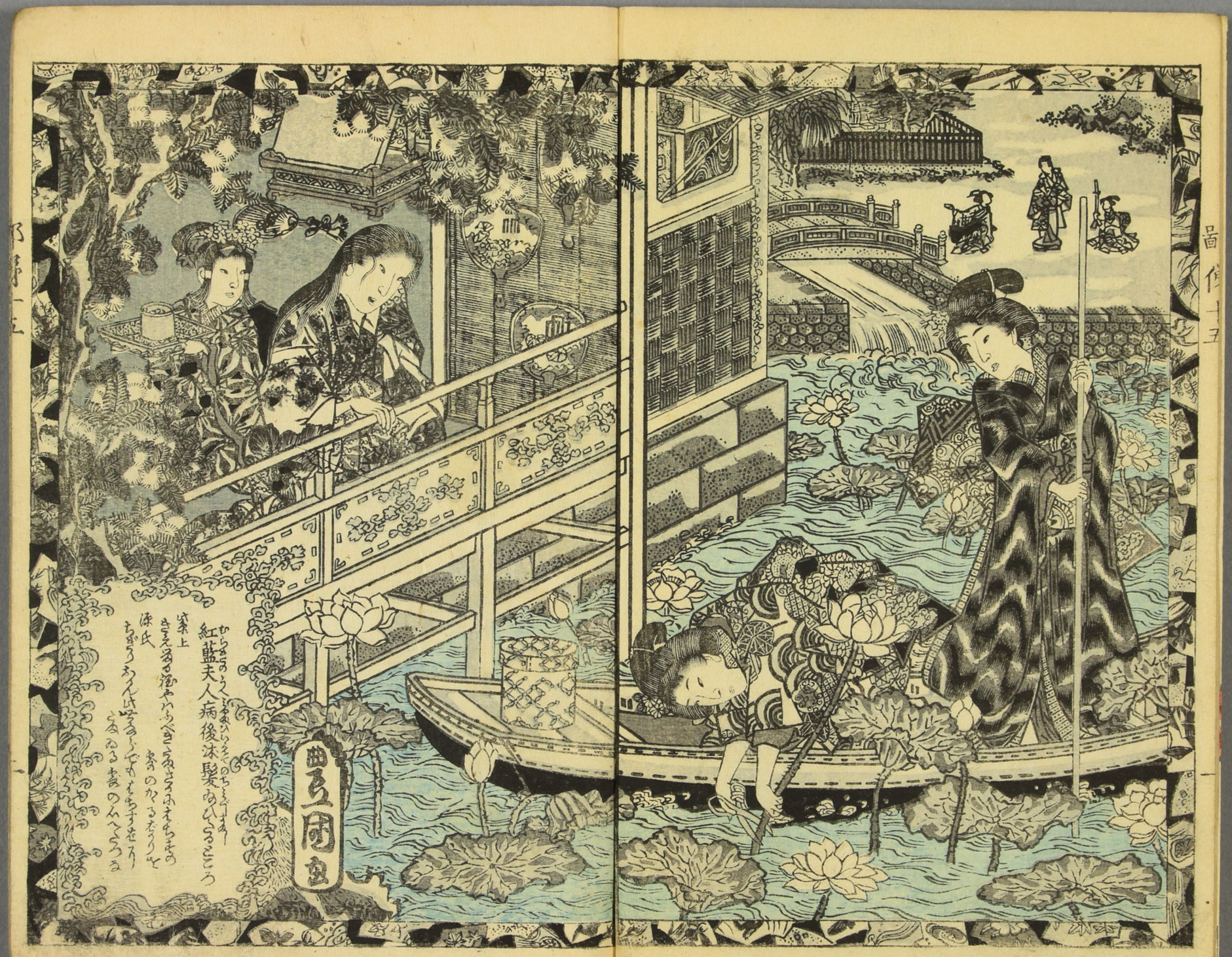
其興ごとふ雖不有彼六十帖ハ元禄八年皇都四條萬太夫が戯場の春演戯ふて近松巣林子ハ新作又此俳優ハ再其頃大江戸ふ出此戯を演ーの不口と知ーねと

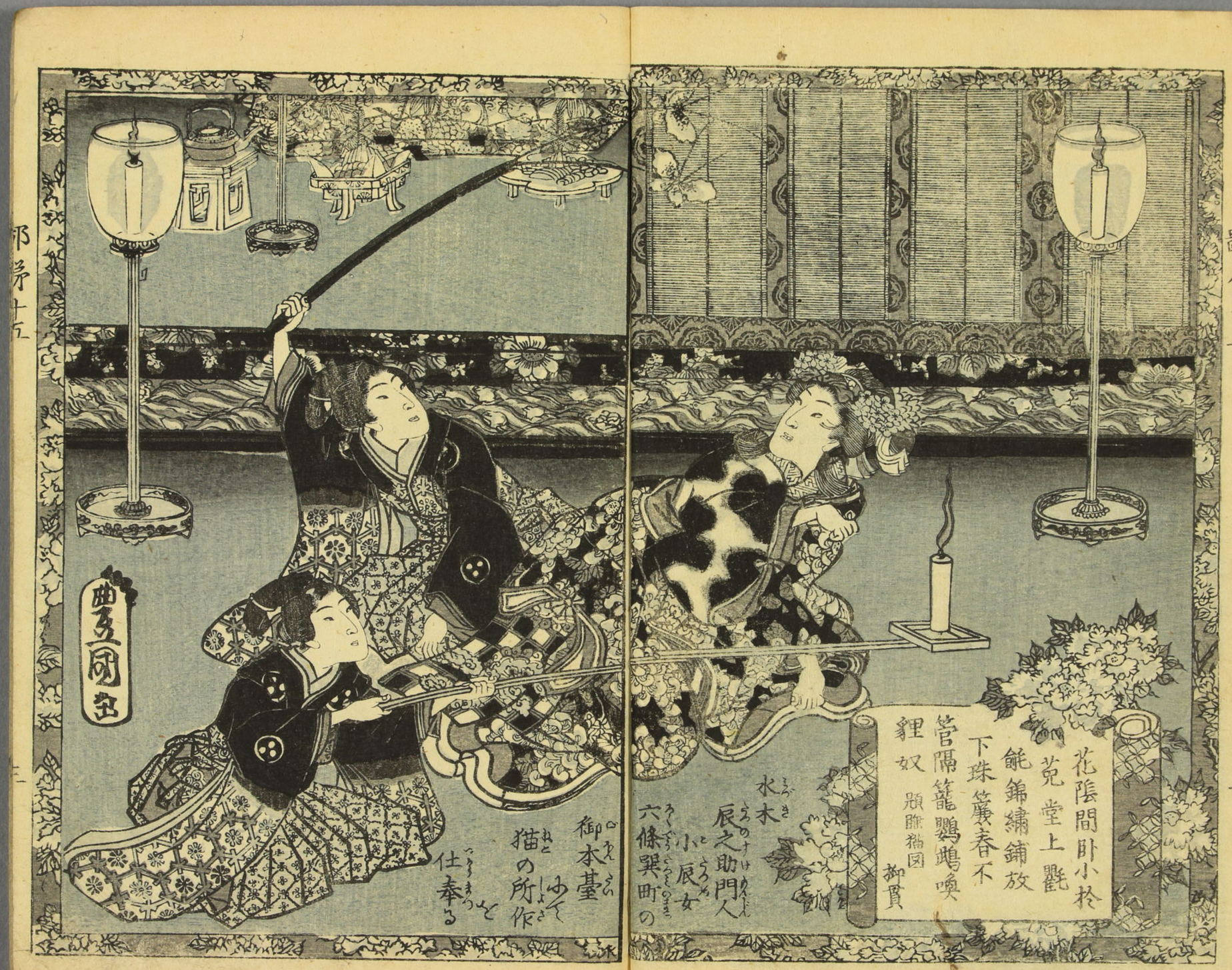
同十年刊行せ戯子評書訓蒙図彙ふ。此人の藝何をさしてもとづくゆくい程上手ふろろ口け鎗踊ふ與言をたく土佐與兵衛が板行ーと弘めるがたやーき方の奥さるをて草紙ふ久く鎗をとりのけけいと其外浅草觀音の前ふ水木辰之助京土産源氏玉手箱と看版を打焦揭の莨管大分賣をて銀利市たるも水木殿の御茶ふ一のらもや。ありて今ちあうとぞ為るしたる源氏の由緑ふ相肖く此本ふ賣をよ添行よと請祈どふ水木が愛形ふ比べ其うら島が玉手箱開て悔ーと思念行んろと背ふ汗を流ーと書をハ

已未春新販繪草紙　已年の青甫半ふ

仙果改

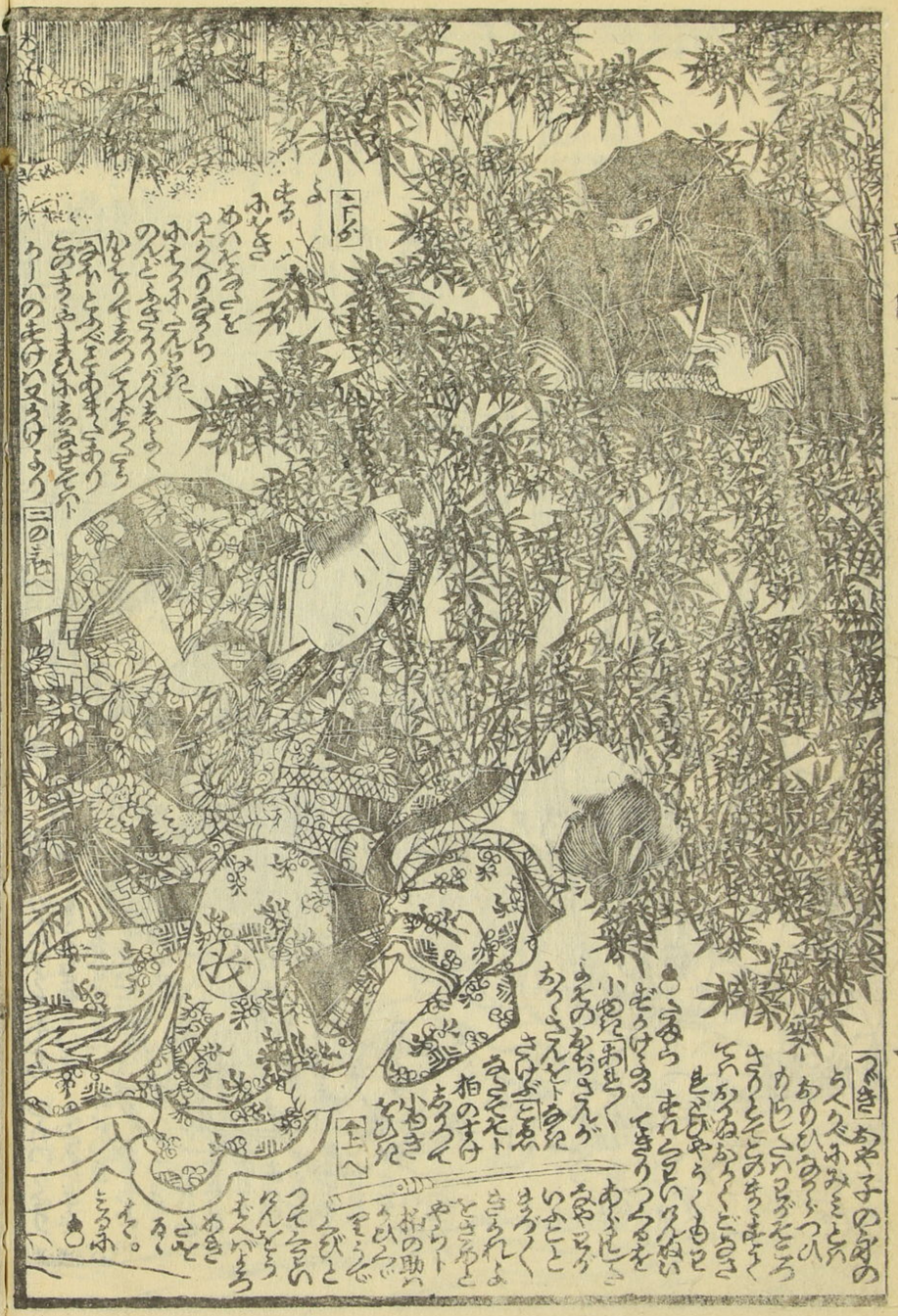
柳亭種秀

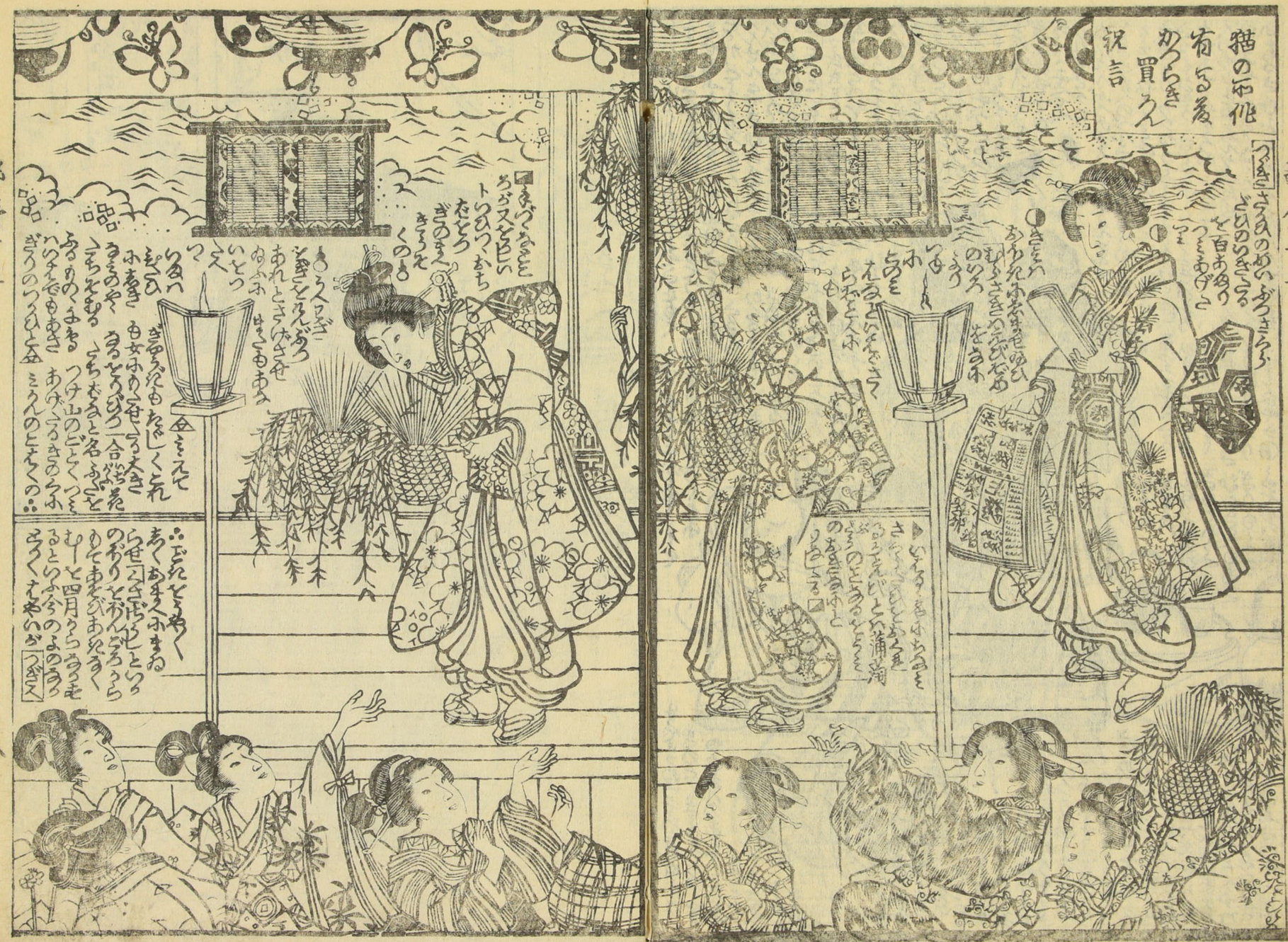

紅藍夫人病後洗髪のところ
源氏
国貞画

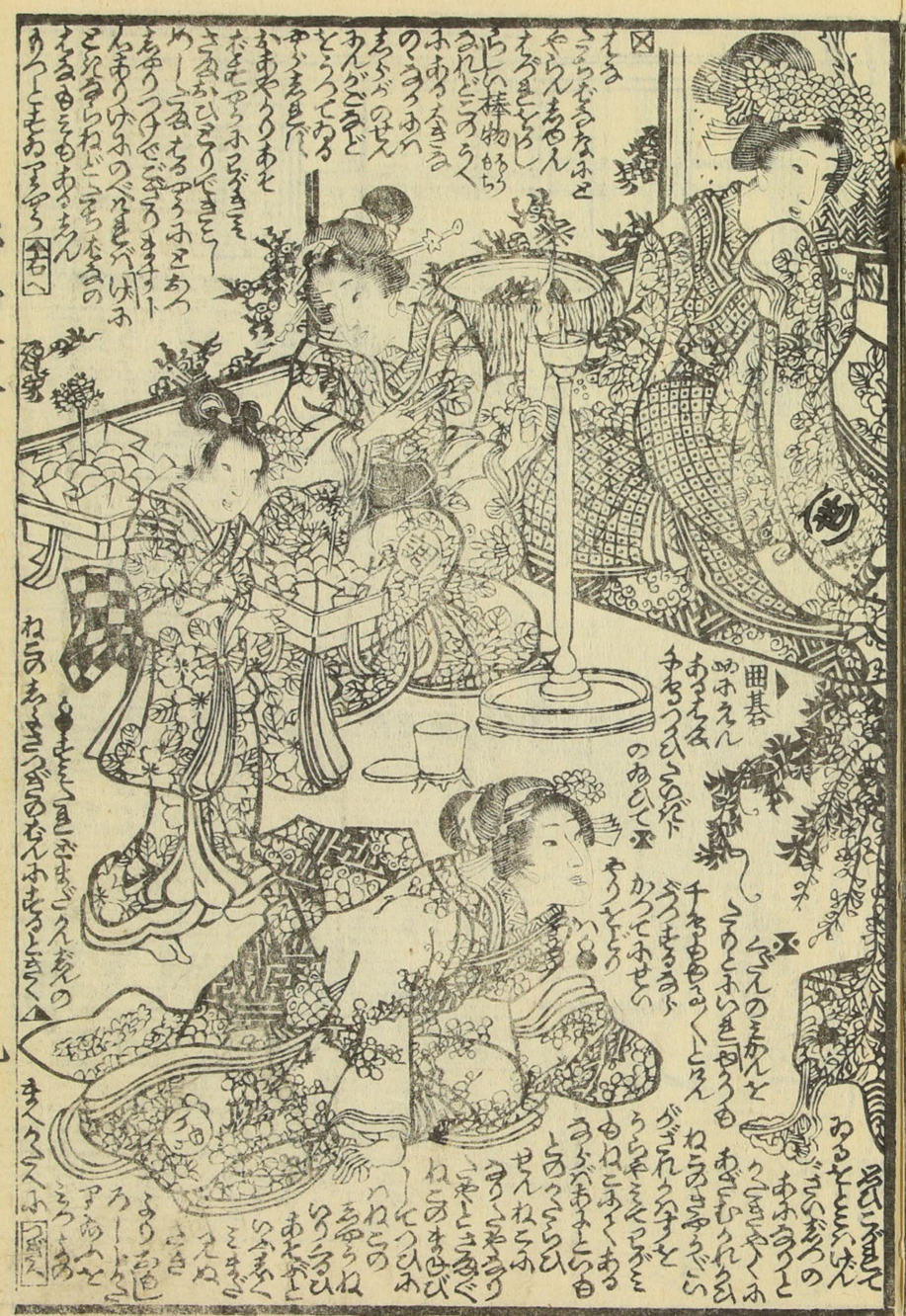

邪婦十五
豊国画
御本基
猫の所作
仕奉る
水木
辰之助門人
小辰女
六條巽町の
花陰間卧小於
苑堂上甍
毳錦繡鋪放
下珠簾春不
管隔籠鸚鵡喚
狸奴 題賜猫図
御貫
豊作画五

雪
月
花

柏




猫の和作
有ち義
かつらき
買ろん
祝言



竹

國貞画圖

傭書
交來

へ 13
3730
30

門へ13
3730
30

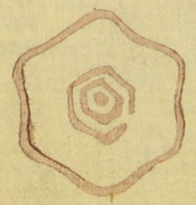
柳亭著

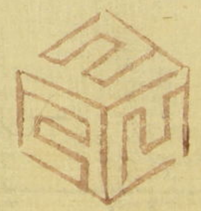
梅紫

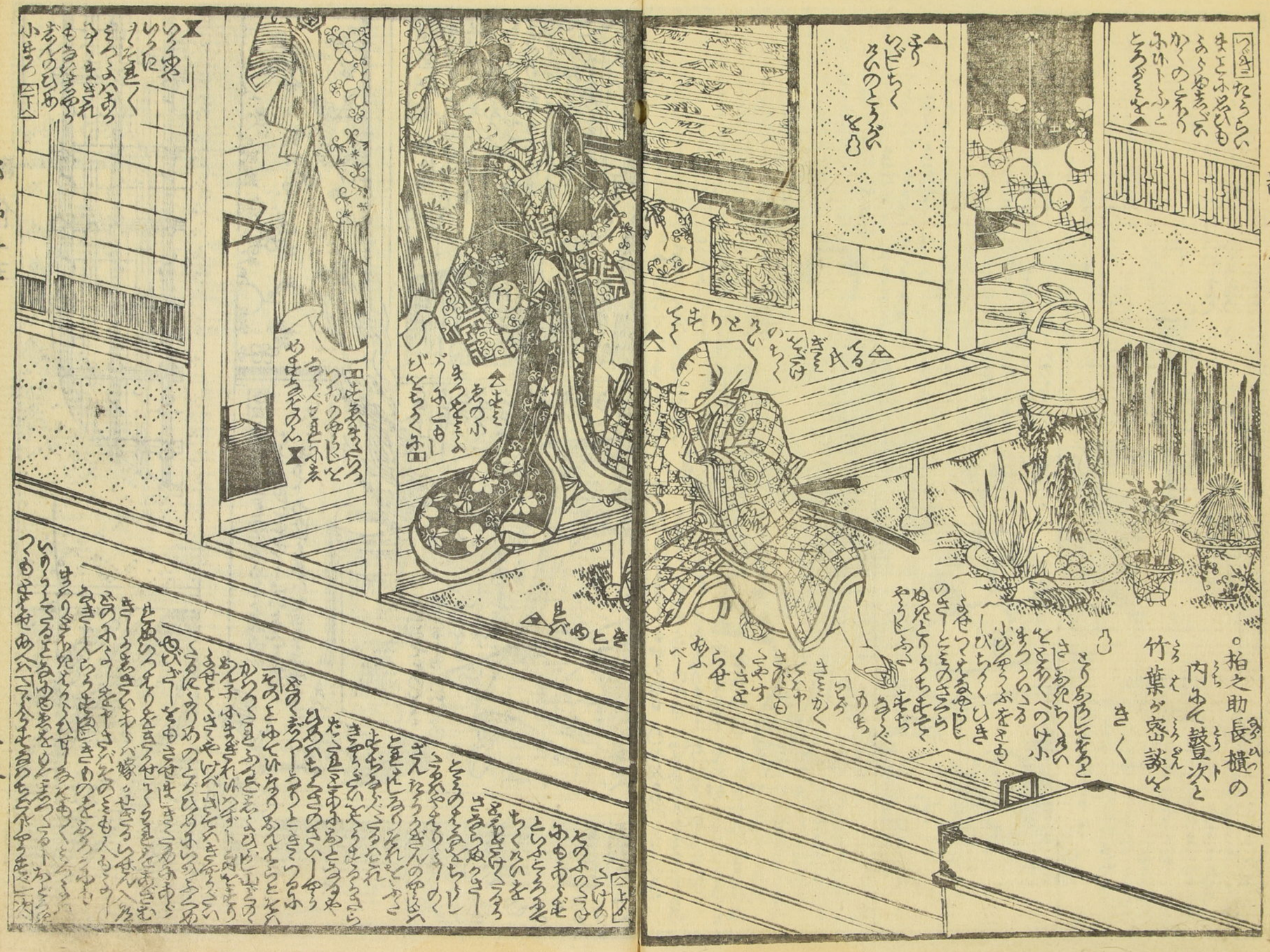
其紫鄙廼

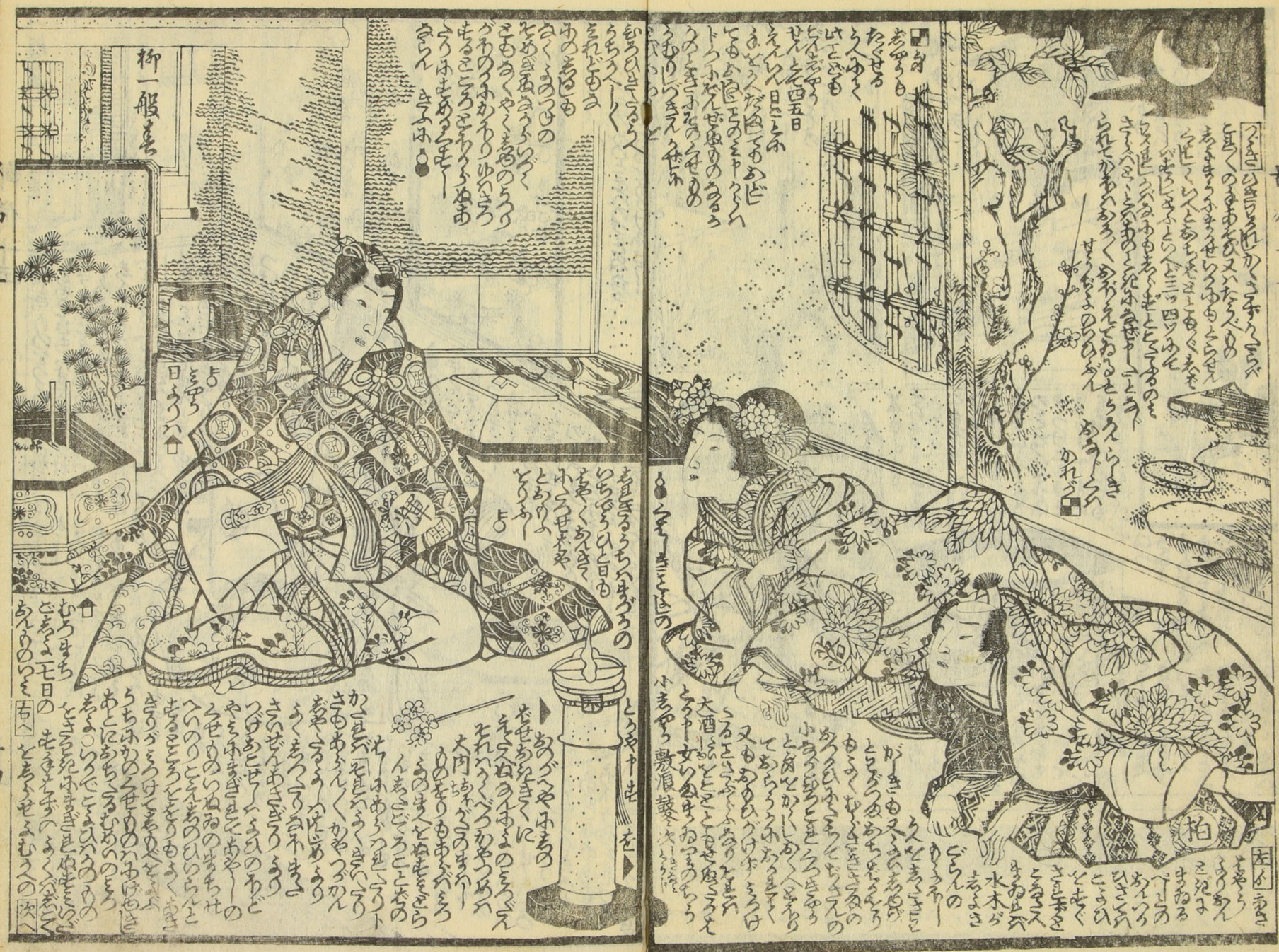
面住景

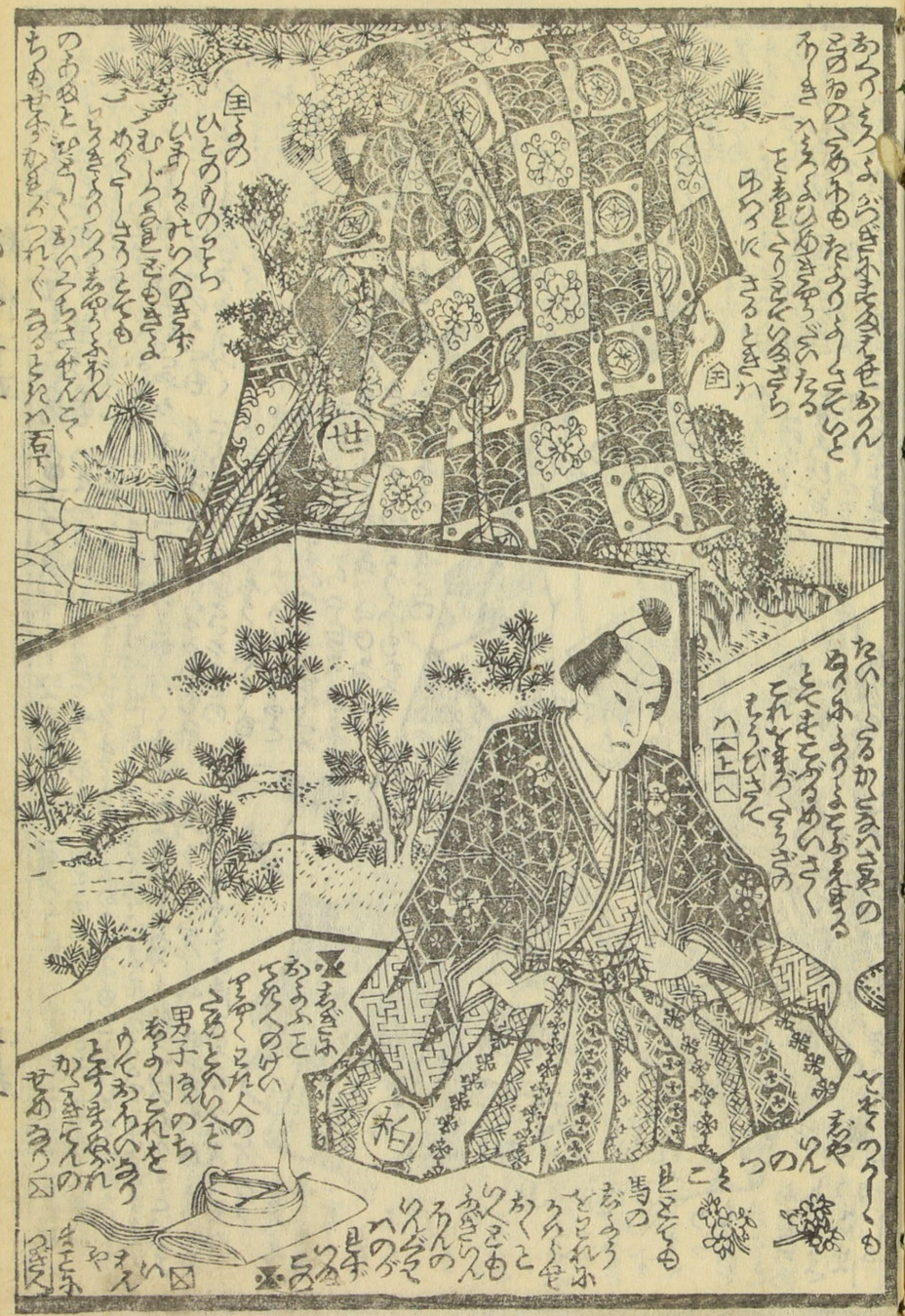
拾五編下






柏之助長横の
内ゆえ豊次と
竹葉が密談を
きく


柏
柳一般画

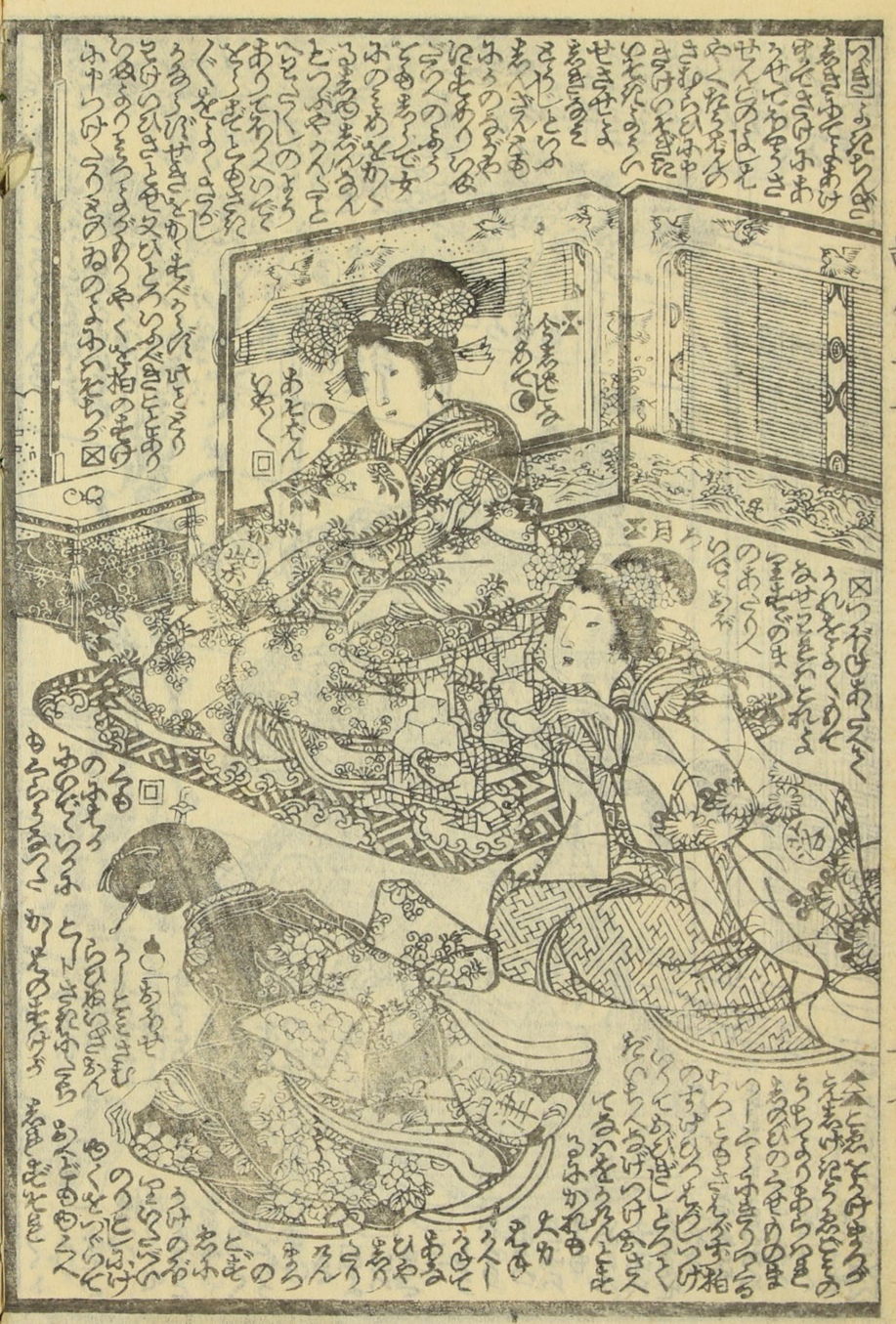


種秀作
画譜
名家
合作

徒然草圖會 大 五冊
作者兼好の履歴
かきし心操を文
いろる人物の俤
地名の沿革
宵賊故実
おとぐく
平仮名を曲
解
の重と指圖
金地美の号
特裁
近日発兆

楊

柏



禁呪
發揮
雪

國貞画